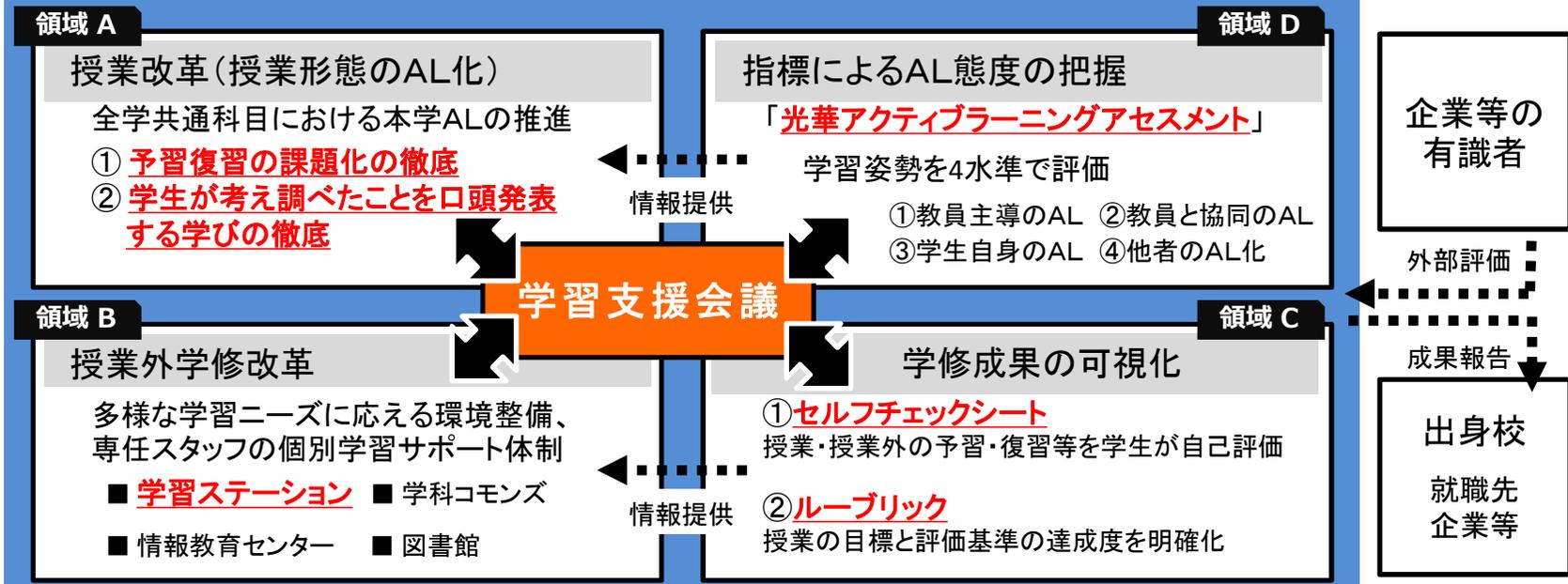


大学等名：京都光華女子大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

アクティブラーナー育成のための学修支援体制づくりとして、以下の4領域に取り組む。①授業の予習復習を課題化して、授業外学修の時間を確保し、授業の習熟度を高める。②授業外での課題学習を支える学習・学修マネジメント支援体制を教職協働で構築する。③ルーブリック等で、学生の自己評価と科目担当教員の客観的評価の両方で学習成果を捉え、学習・学修を点検する。④「光華AL」アセスメントを構築し、自律的な学び態度に向けて学習行動の改善を図り、その結果として授業の習熟度を高める。

個々の学生・教職員の責任にせず、組織として実現させる仕組みを構築



各領域の評価指標	26年度	28年度(目標値)	30年度(目標値)
領域 A 必修科目の授業形態のAL化	25.9%	60%	60%
領域 B 授業外支援機関と協働で授業デザインの科目履修率(科目数)	1年生100% (2科目)	1年生100%、2年生キャリア形成学部100%(計5科目)	1年生100%、2年生キャリア形成学部100%(計8科目)
領域 C 必修科目におけるルーブリックの導入	1.4%	36.7%	100%
領域 D 光華AL水準の向上の把握率	光華AL水準の把握法の開発	キャリア形成学部100%	全学部100%

・平成26年度学部改組後の推進期として今後、各学科の国家資格試験の合格率向上や日本の女性教育の改革を加速できる。
・授業時の各担当教員の指導に加えて、教職協働によるボトムアップでの組織的な学習支援体制が構築できる。